

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	34	林道台帳索引番号番号	7	施設管理者	西都市
路線名	打越線	林道種類及び区分	自動車道2級	トンネル名	隧道
施設の所在地	西都市大字尾八重	起点からの距離	3.3km	建設年度	1952
供用年数	70年	設計または適用設計 技術基準の年度	—	トンネル等級	—

施設概要	施設の規模	延長	15.5m	全幅員	3.6m	建築限界高さ	4.0m	内空断面積	—	縦断勾配	—
	施設の構造等	トンネル分類		—		トンネル工法		素掘り		通行規制の有無	無し
		壁面種類		—		天井板種類		—			
		坑門(起点側) 形式		—		交通量		—		排水	無し
		坑門(終点側) 形式		—		舗装		アスファルト			
		道路附属物、占用物件									
	施設の目的利用実態等	林道打越線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域の生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。									
施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年1月23日									
	調査結果	・アーチ部天端に軽微なひび割れ、うきが確認される。 ・南側坑口の上部にφ40～50cmの浮石状の岩石が確認される。 ・路面に土砂蓄積や亀甲状ひび割れ、凹凸が確認される。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。							
	劣化原因	経年劣化が考えられる。									
長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度									
	内容	定期点検による経過観察及び、点検時にはく落の可能性があるうきの除去。									
	実施予定時期	令和6年度に実施した。 次期点検は令和11年度を予定しており、損傷箇所の進展度合いを確認する。									
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 施設の健全性が予防保全段階にあることから、優先度は「中」とした。								
	対策費用(概算)	定期点検 約 1,500千円									
管理方法	管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、定期的な道路巡回等による目視での監視を行う。									

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
対策費用（百万円）		1.5					1.5			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備 考	

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	35	林道台帳索引番号番号	35	施設管理者	西都市
路線名	吐合線	林道種類及び区分	自動車道1級	トンネル名	大椎葉トンネル
施設の所在地	西都市大字尾八重	起点からの距離	0.1km	建設年度	2007
供用年数	15年	設計または適用設計 技術基準の年度	平成2年度	トンネル等級	D

施設概要	施設の規模	延長	361.0m	全幅員	8.0m	建築限界高さ	4.5m	内空断面積	—	縦断勾配	—
	施設の構造等	トンネル分類		—		トンネル工法		NATM工法		通行規制の有無	無し
		壁面種類		覆工コンクリート		天井板種類		覆工コンクリート			
		坑門(起点側) 形式		ウイング式		交通量		—		排水	
		坑門(終点側) 形式		ウイング式		舗装		コンクリート			
		道路附属物、占用物件		照明							
	施設の目的利用実態等	林道吐合線は、林道中之又・吐合線に繋がる支線であり、中之又・吐合線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域の生活道及び、「ひむか神話街道」として観光道路の機能も有していることから、利用頻度が高い。									

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年1月28日	
	調査結果	・覆工部では、アーチ部及び側壁部に温度乾燥収縮によるひび割れや横断目地部にうきが局所的に確認される。 ・アーチ部に地山からの浸透水によるものとされる横断目地からの漏水跡が確認される。 ・路面では、通行車両の荷重によるものと推定されるうきが確認される。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	・ひび割れについては、外気との温度差による温度・乾燥収縮及び材質劣化が考えられる。 ・うきについては、材質劣化が考えられる。 ・漏水・遊離石灰については、地下水による外力が覆工に作用している可能性が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度	
	内容	定期点検による経過観察及び、点検時にはく落の可能性があるうきの除去。	
	実施予定時期	令和6年度に実施した。 次期点検は令和11年度を予定しており、損傷箇所の進展度合いを確認する。	
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 施設の健全性が予防保全段階にあることと、生活道路及び観光道路として通行量が多い路線であることから、優先度は「高」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 約 2,500千円	
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、定期的な道路巡回等による目視での監視を行う。		

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
対策費用（百万円）		2.5					2.5			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備 考	